

教材活用シリーズ 第81回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント(場面・方法)などをご紹介します。

キャリア教育のすすめ

『キャリア・レインボーノート』の紹介

東京法令出版(株)

『キャリア・レインボーノート』

こいで けんたろう
小出 健太郎

(東京法令出版株式会社
第三事業部)

本書の特色

本書は、平成23年に、文部科学省から全国の中学校に無料配布された『中学校キャリア教育の手引き』の監修者であり、元文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官、藤田晃之筑波大学教授の監修により、「学習指導要領」や『中学校キャリア教育の手引き』の内容に準拠している。この『中学校キャリア教育の手引き』のなかでは、「キャリア・レインボー」が中核理論ともなっている。

『キャリア・レインボーノート』

A4判、56頁(2色)、定価500円、教師用解説あり(東京法令出版HPよりダウンロード)

- ・本書は、中学校キャリア教育を体系的に学習することができる資料読解型の書き込み式ノートである。
- ・本書の主な使用時間は、次のとおりである。
【中学校2・3学年】
「総合的な学習の時間」や「特別活動」、「職場体験などで使用可能。また、「公民」や「技術・家庭」において、キャリア教育に関連させた授業を行う際にも活用できる。
- ・書き込み式なので、提出物とすることもできる。

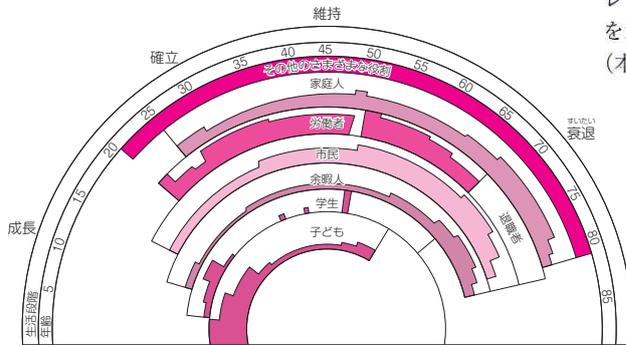
キャリア・レインボー(7頁参照)とは、人が生涯において果たすべきさまざまな役割を、アメリカの学者D・Eスパーが概念図化したものである。そして、この『キャリア・レインボーノート』は、書名のとおり、「キャリア・レインボー」を基盤に据えて編纂しており、今までにない、まったく新しい中学校キャリア教育の教材である。

この教材のテーマは、「人は勤労のみならず、日常生活や家庭生活、社会参画、余暇の大切さなどの生涯(人生)を充実させるには



●人が生涯において果たすさまざまな役割を、アメリカの学者D.Eスーパーが概念図化した「キャリア・レインボー」を本書の基盤に据えて編纂しました。

D.Eスーパーのキャリア・レインボー



「キャリア・レインボー」を示した図。(本冊 P.5 より)

どうしたらよいか」である。このテーマは、「中学校キャリア教育」のテーマでもあると考える。

また、他の生徒が『キャリア・レインボーノート』に書き込んだ答えと自分の答えを比較し、さまざまな意見や考え方を認めた上で、さらに「自分なりの答え」を考えることもできる。この点は、探究学習や協同学習にも最適である。

どのような場面・方法で使用すると、より効果が得られるか

佐藤 学（東京都足立区立六月中学校 主任教諭）

卒業を間近に控えた3年生に対する進路指導として、卒業後の進路先における適応指導は大切である。だが、進路指導・キャリア教育がもっと幅広く生涯全体にわたる長い期間を対象とした「生き方」を指導するという点から考えると、直後の進路先における適応指導だけではもちろん十分とはいえない。では、職業における自己実現を考えさせる指導だけがそれを補完するのであろうか。答えは否である。自己実現の場、つまり自己を生かす場は、職業だけでなくボランティア活動や家庭生活、個人の趣味にまでおよぶ。生涯学習によって生き甲斐が得られる人もいようし、家庭生活や地域コミュニティにおいてよりよく生きることで、豊かな生活が創造できる人もいよう。このように考えると、生涯にわたって生活を豊かにする力を育成することが進路指導・キャリア教育の使命ではなからうか。このような思いから、スーパーのキャリア・レインボーの発想を土台とした実践的な教材として作成されたのが本書である。

本書は、中学2・3学年での使用を想定しており、特別活動、総合的な学習の時間、各教科等において幅広く活用できるよう工夫されている。例えば、総合的な学習の時間においては、ボランティア活動や福祉、健康、環境、国際理解、自然体験等、学校毎に3年間を見通した計画が立てられていると思うが、どんな課題であっても「では自分はどう生きるのか」を追求することで、単にそれらの知識を積み重ねるだけでなく、生かすことができるようになる。本書では、働くことや家庭生活、結婚、老後や介護、健康など幅広いテーマを扱うことになる。各学校の学習と重なる部分もそうでない部分もあると思うが、自校のキャリア教育目標に照らして、その達成のために必要であれば本書の内容に沿った計画に変えていくことも考えられよう。また、どのテーマの学習であっても生徒自らが教科との関連を考える時間をとりたい。そうすることによって、生徒は今学んでいることが、将来どう生きるかを考える習慣を身につけていく。本書の実践的な活用によって各学校におけるキャリア教育がより充実し、豊かになると確信する。